

ちよつとしい話

～ 足^たることを知る ～

「飲食を節にして足るを知れば不詳に勝つ」とあります。弘法大師様が好まれた言葉です。要するに、「飲み食いを節制して、足ることを知る心^{こころ}を持てれば幸せになることが出来る」ということです。

腹八分とは、昔から良く言われていますが、現代の子ども達を含め、多くの人間は好きなものは大食し、嫌いなものは食せずという、真に勝手な時代に入ってしまった。食事は、とり過ぎれば下痢を起こし、少なければイライラを起こす原因となります。親が子どもに対する愛情もまさにこの如くであります。子どもに対して、あまりにも過剰な愛情を注ぎすぎると、全ての事柄に適した環境及び状態を作ることが出来なくなるという事実を知って欲しいのです。

現代の文化は、本当に進んでいると言えるでしょうか。昭和30年頃に比べれば、日本も素晴らしい経済成長を遂げました。電気製品を始め、車社会になり、物はあふれています。しかしながら、文明の置き土産か、環境破壊が進み、人間の社会生活をも脅かすまでになっています。便利さのみを追い求めた結果の失敗と言えましょう。遅すぎた感がありますが、今再び、自然の大切さが叫ばれています。物と心、ともに生きれるように心掛けていきたいものです。何事も腹八分が肝心です。少し欲を抑えて、足ることを知れば満足満足。

古く万葉集にも出てくる「足る事を知る」は、まさにこの事が心の運び・道徳心の確立に役立つと思います。衣食足りて礼節を知る。行えてこその実感です。

善入院油掛地藏尊